

福井県感染症発生動向調査速報

<<平成23年>>

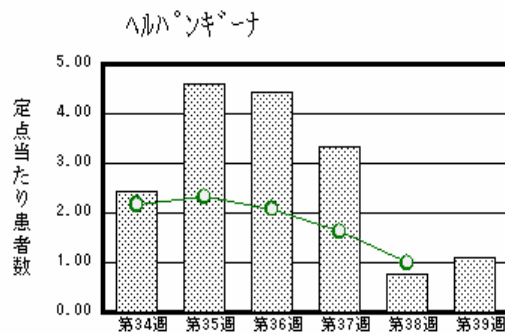
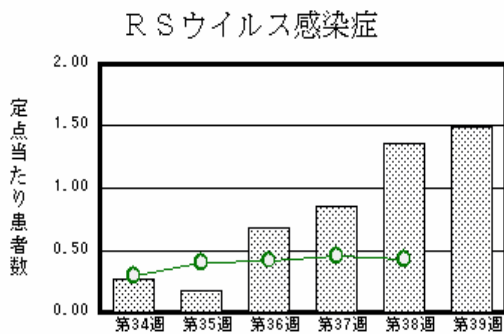
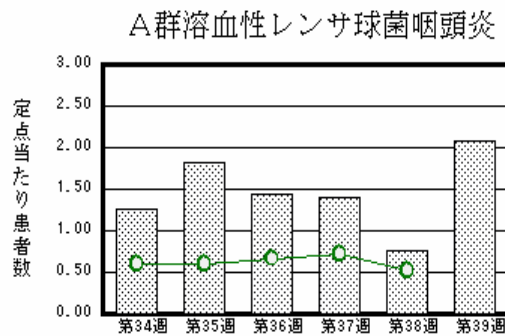
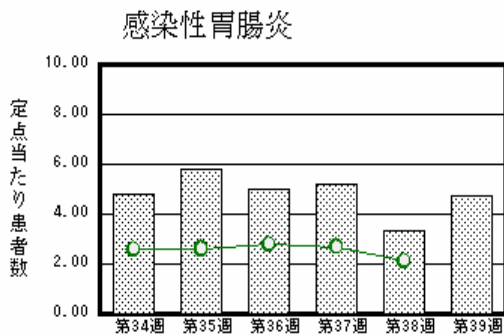
<週報> 第39週 (平成23年 9月26日 ~ 10月 2日)

発行日：平成23年10月5日

発行：福井県健康福祉部健康増進課
福井県衛生環境研究センター
kansen@erc.pref.fukui.jp

注目疾患の動向

1. 【今週の上位5疾患】 感染性胃腸炎104名(4.73名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎46名(2.09名) RSウイルス感染症33名(1.50名) ヘルパンギーナ24名(1.09名) 水痘21名(0.95名) 手足口病21名(0.95名) ()内は定点当たり人数
2. 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎(104名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(46名) RSウイルス感染症(33名) ヘルパンギーナ(24名) 水痘(21名) 手足口病(21名)
3. 【感染性胃腸炎】報告数は104名です。定点当たり報告数は増加しました(3.32名 4.73名)。地域別にみると、福井地区7.14名、坂井地区5.67名、丹南地区4.60名、奥越地区2.50名、二州地区2.33名、若狭地区1.00名の順となっています。
4. 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は46名です。定点当たり報告数は増加しました(0.77名 2.09名)。地域別にみると、奥越地区6.00名、丹南地区3.20名、坂井地区1.67名、福井地区1.57名、二州地区0.67名の順となっています。
5. 【RSウイルス感染症】報告数は33名です。定点当たり報告数は増加しました(1.36名 1.50名)。地域別にみると、福井地区2.71名、坂井地区1.33名、二州地区1.33名、丹南地区1.00名、若狭地区0.50名の順となっています。
6. 【ヘルパンギーナ】報告数は24名です。定点当たり報告数は増加しました(0.77名 1.09名)。地域別にみると、坂井地区1.67名、奥越地区1.50名、二州地区1.33名、丹南地区1.00名、福井地区0.86名、若狭地区0.50名の順となっています。



棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。
各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

感染症週報全国版の要点

2011年第37週号(9月12日～9月18日)要点

発生動向総覧	<第37週> マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い/その他最新動向 <8月> 性感染症・薬剤耐性菌感染症について
注目すべき感染症	<RSウイルス感染症> 第37週の報告数は1,414例であり、2004年以降の同時期の報告数としてはこれまでで最も多い状態が第16週以降継続している
病原体情報	ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌2011年/麻疹ウイルス2011年
速報	<今週は該当記事はありません>
海外感染症情報	インフルエンザ
感染症の話	<今週はお休みです>

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

全数届出の感染症(福井県)

- 1類感染症:報告はありませんでした。
- 2類感染症:報告はありませんでした。
(なお、結核は第38週に3名の報告がありました)
- 3類感染症:報告はありませんでした。
- 4類感染症:つつが虫病1名の報告がありました。
- 5類感染症全数把握対象:報告はありませんでした。

福井県感染症発生動向調査

[定点報告:五類感染症(週報分)] 平成23年 第39週 平成23年9月26日(月)～平成23年10月2日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(38週)
インフルエンザ (32)	インフルエンザ (鳥インフルエンザを除く)									101 0.02
小児科 (22)	RSウイルス感染症	19 2.71	4 1.33	4 1.33	1 0.50		5 1.00	33 1.50	30 1.36	1336 0.43
	咽頭結膜熱	1 0.14						1 0.05	1 0.05	533 0.17
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11 1.57	5 1.67	2 0.67			12 6.00	16 3.20	46 2.09	1620 0.52
	感染性胃腸炎	50 7.14	17 5.67	7 2.33	2 1.00	5 2.50	23 4.60	104 4.73	73 3.32	6594 2.11
	水痘	3 0.43	4 1.33	1 0.33			13 2.60	21 0.95	26 1.18	1472 0.47
	手足口病	3 0.43	3 1.00	5 1.67	2 1.00	3 1.50	5 1.00	21 0.95	30 1.36	8597 2.75
	伝染性紅斑	2 0.29		6 2.00			1 0.20	9 0.41		403 0.13
	突発性発しん	2 0.29	2 0.67	1 0.33	1 0.50	1 0.50	3 0.60	10 0.45	4 0.18	1554 0.50
	百日咳									56 0.02
	ヘルパンギーナ	6 0.86	5 1.67	4 1.33	1 0.50	3 1.50	5 1.00	24 1.09	17 0.77	3105 0.99
流行性耳下腺炎	1 0.14						1 0.20	2 0.09	1753 0.56	
眼科 (3)	急性出血性結膜炎		*	*	*	*				85 0.12
	流行性角結膜炎	1 0.50						1 0.33		397 0.58
基幹 (6)	細菌性髄膜炎									11 0.02
	無菌性髄膜炎								1 0.17	28 0.06
	マイコプラズマ肺炎	1 0.50	*					1 0.17	3 0.50	274 0.60
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									8 0.02
	インフルエンザ(入院患者数)									2 0.00

インフルエンザは、小児科定点+内科定点

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。

*欄には定点はありません

福井県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

平成23年第39週 平成23年9月26日(月)～平成23年10月2日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(鳥インフルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	インフルエ ンザ(入院 患者数)	
～5ヶ月		～5ヶ月	5			3	1					1		～5ヶ月								
～11ヶ月		～11ヶ月	9			5	2		1	7		5		～11ヶ月								
1歳		1歳	14		2	15	4	8	5	3		7	1	1歳								
2歳		2歳	5	1	5	16	4	5	2			5		2歳								
3歳		3歳			5	9	4	4	1			2		3歳								
4歳		4歳			8	8	2	3				2		4歳								
5歳		5歳			5	5	4	1				1	1	5歳								
6歳		6歳			5	4								6歳								
7歳		7歳			3	4								7歳						1		
8歳		8歳			3	7								8歳								
9歳		9歳				3								9歳								
10～14歳		10～14歳			9	12						1		10～14歳								
15～19歳		15～19歳				6								15～19歳								
20～29歳		20歳以上			1	7								20～29歳		1						
30～39歳														30～39歳								
40～49歳														40～49歳								
50～59歳														50～59歳								
60～69歳														60～69歳								
70～79歳														70歳以上								
80歳以上																						
合計		合計	33	1	46	104	21	21	9	10		24	2	合計		1				1		
前期計		前期計	30	1	17	73	26	30		4		17		前期計					1		3	
当期間/前期	***	当期間/前期	1.1	1	2.71	1.42	0.81	0.7	***	2.5	***	1.41	***	当期間/前期	***	***	***			0.33	***	***
増減数		増減数	3		29	31	-5	-9	9	6		7	2	増減数		1			-1		-2	

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき